

展覧会参考情報

1 町田市立博物館について

町田市立博物館は「市民が身近に文化を楽しむことができる」ということを基本的なコンセプトとし、工芸美術の展示を行ってきました。コレクションの大きな柱には陶磁器とガラス作品があり、中でも東南アジア陶磁器、ボヘミアングラス作品は国内トップクラスの収蔵件数を誇っています。

町田市立博物館は施設の老朽化に伴い、2019年に展示活動を終了しました。現在は、(仮称)町田市立国際工芸美術館としてリニューアルオープンするための準備を進めつつ、市内各所で出張展示や体験講座を行っています。今回の展覧会もその活動の一環です。

2 展覧会の概要

- (1) 展覧会名：「光をまとった憧れのうつわ—ヨーロッパガラスの彫りと技」
- (2) 展覧会場：町田市立国際版画美術館市民展示室
- (3) 展覧会会期：2026年7月14日(火)～8月2日(日)
- (4) 問い合わせ先：町田市立博物館 Tel. 042-726-1531
- (5) 開場時間：平日午前10時～午後5時、土日祝日午前10時～午後5時30分
※最終入場は閉場時刻の30分前まで
- (6) 休場日：7月21日(火)、7月27日(月)
- (7) 入場料：無料

3 展覧会コンセプト

今回の展覧会ではガラス表面を削ることで文様を表す技法に注目し、町田市立博物館が所蔵する近代ヨーロッパで作られたガラス作品を紹介します。

特にボヘミア・シレジア地方(現在のチェコ・ポーランド)のガラス器には細密な彫刻が施されており、当時の貴族たちの社交の場を華やかに彩りました。本展覧会のテーマは彫刻技法の歴史と科学技術の発展との関係性にあります。一つひとつ人力で作られていた時代から、産業革命以後は蒸気の利用されるようになりました。それに伴って作品の価格は下落し、多くの人が光り輝く器を使えるようになったのです。

また、体験型の作品鑑賞シートとともに展覧会を見ていただくことで、作品そのものの美しさだけでなく、作品が制作された当時の様子を想像しながら、工芸美術の魅力をより深く感じていただきます。

4 展覧会のターゲット

本展覧会の会期中は小中学校の夏休み期間と重なります。また、小中学生向けの作品鑑賞シートを会場内で配布します。このため、小中学生とその保護者の多数の来館が見込めます。展覧会に楽しそうな印象を抱かせ、ぜひ見に行きたい、立ち寄りたいたいと感じさせるような、親しみやすいデザインをご検討ください。